

TOTO

ウォシュレット® 一体形便器 (便器部)

BP

◆ “ウォシュレット” はTOTOの登録商標です。

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分に説明ください。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。
お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。		は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
--	--------------------------------------	--	---

注意

	便器に強い力や衝撃を与えない 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない 止水栓を閉めないで水が噴き出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。 設置工事は、この説明書に従って確実にを行う 故障や水漏れの原因になります。

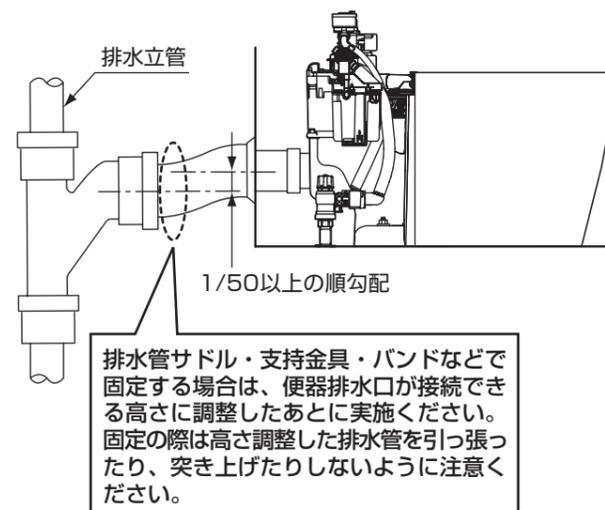
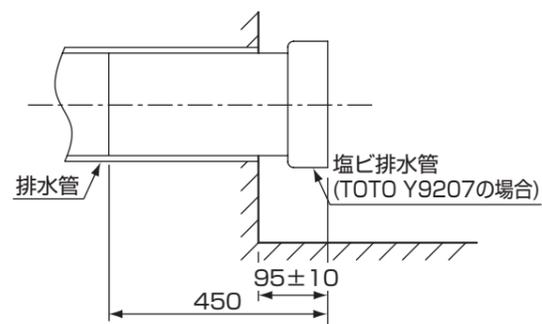
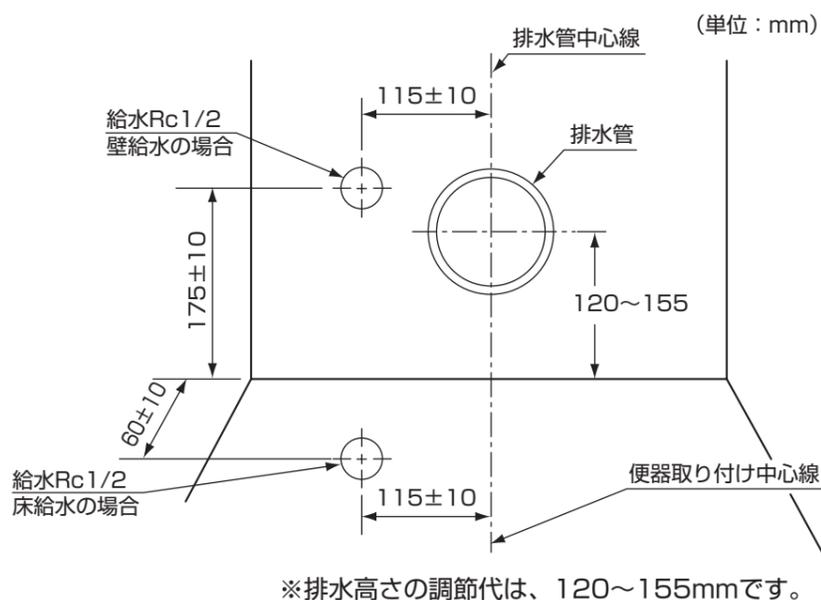
同梱部品

※部品があるか、下記を参照して確認してください。

便器本体	排水ソケット	固定片
(1個)	(1個) ※パッキン付き	固定片 (1個) 接着ブロック (1個) 木ねじ (φ6×40:2本)
すっきりパネル		
すっきりパネル(左) (1個) すっきりパネル(右) (1個)		
給水金具	固定金具類	その他
止水栓 (1個) ※便器同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けください。 分岐金具 (1個) エルボ (1個) パッキン (1個) ストレート管 (1個) ふさぎシート (1枚)	六角ボルト (2本) 止め金具 (2個) ナット (2個) ワッシャー (2個) 木ねじ (排水ソケット用) (φ6×60:4本)	施工説明書 (1部) 開閉工具 (1個) ※すっきりパネル裏側に貼り付けてあります。 位置決めシート (1部)

取り付け前のご注意

- 取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- 室内暖房付きの場合は温風吹き出し口から150mm以上の空間を確保してください。(壁が変色する原因となります)
- 後ろ壁に床面から高さ1400mm以下の棚やキャビネットなどがあると、リモコンの受信条件が悪くなり、リモコンを操作しても本体が反応しないことがあります。(棚、収納キャビネットは下端 FL+1400mm以上を目安としてください)
- 商品への通電および通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください。
- 連結ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
- 電源は交流100V (50/60Hz)、定格消費電力は機種によって異なりますのでウォシュレット本体同梱の施工説明書をご確認ください。
- 電源コードの長さは約1mです。
コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
- 給水圧力は最低必要水圧(流動時)0.05MPa (10L/分)、
最高水圧(静止時)0.75MPaです。この圧力範囲でご使用ください。
- 施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。

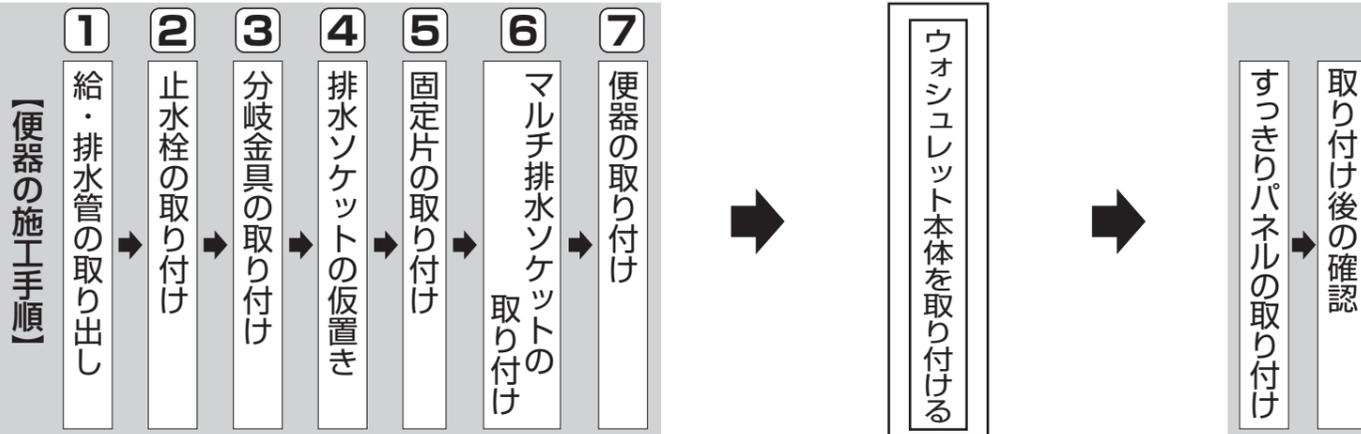


注意

排水管を逆勾配にしない
器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流するおそれがあります。

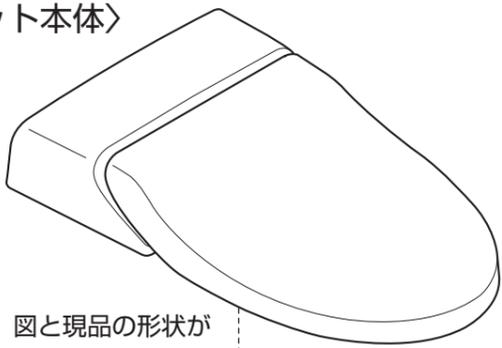
施工手順

この施工手順に従って便器・ウォシュレットを正しく取り付けてください。( は本紙、  はウォシュレットの施工説明書を参照ください)



各部のなまえと施工のポイント

〈ウォシュレット本体〉



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

ポイント③

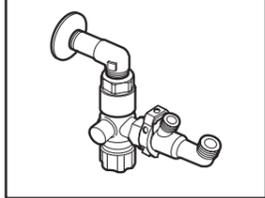
すっきりパネルの取り付けはウォシュレット本体を取り付けたあとに行うこと！

面ファスナー

すっきりパネル(右)

すっきりパネル(左)

壁給水の場合



※便器同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けてください。
ゴミかみによる止水、吐水不良になるおそれがあります。

止水栓(床給水)

給水フィルター

六角ボルト

木ねじ(φ6×60)

止め金具

マルチ排水ソケット

便器

センターラベル

接着ブロック

木ねじ(φ6×40)

固定片

ポイント①

位置決めシートで固定片の位置をきちんと出すこと！(➡⑤)

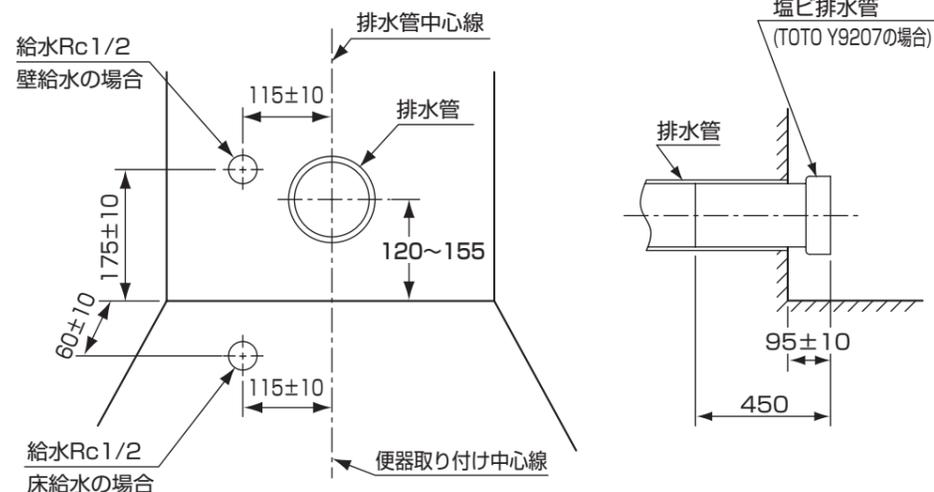
ポイント②

便器を取り付ける際は、分岐金具を外向きに回転させておくこと！(➡⑦)
外側に回転させないと、便器本体取り付け時に、便器本体または分岐金具が破損するおそれがあります。

取付方法

1 給・排水管の取り出し

給・排水管を所定の位置に取り出す。(単位: mm)



※排水高さの調節代は、120~155mmです。

2 止水栓の取り付け

※便器同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けてください。
ゴミかみによる止水、吐水不良になるおそれがあります。

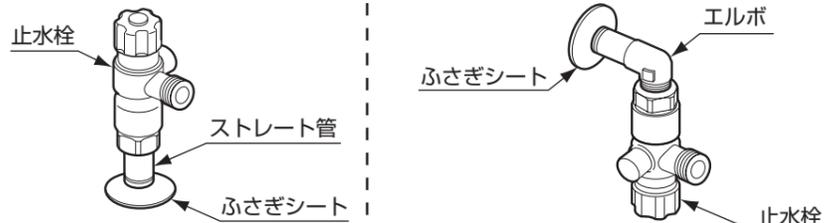
止水栓を所定の位置に取り付ける。

〈床給水の場合〉

ストレート管を使用すること。

〈壁給水の場合〉

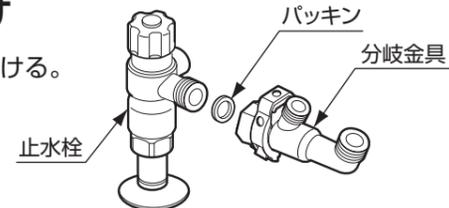
エルボを使用すること。



※ねじ部にはシールテープを巻いて取り付けてください。

3 分岐金具の取り付け

止水栓にパッキンと分岐金具を取り付ける。

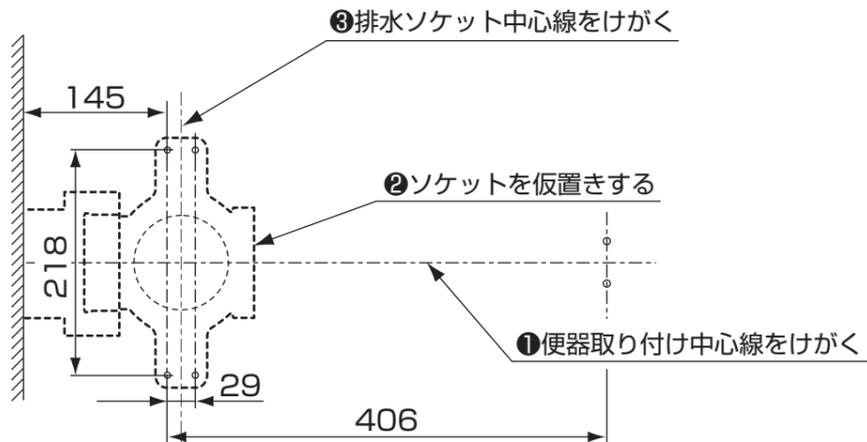


4 排水ソケットの仮置き

- ①便器取り付け中心線をけがく。
- ②下図を参照して排水の接続が所定の位置になるように排水ソケットを仮置きする。
※このとき、便器取り付け中心線と排水ソケットの中心がほぼ一致するように注意してください。
- ③排水ソケット中心線をけがく。
- ④排水ソケットを外し、けがいた取付穴位置（4カ所）にφ3程度の下穴をあける。

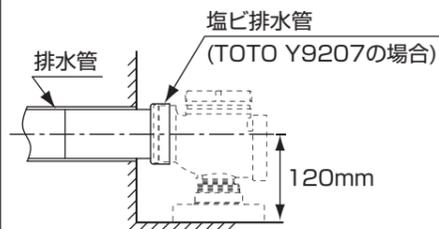
(排水管の出代95mmの場合)

(単位: mm)

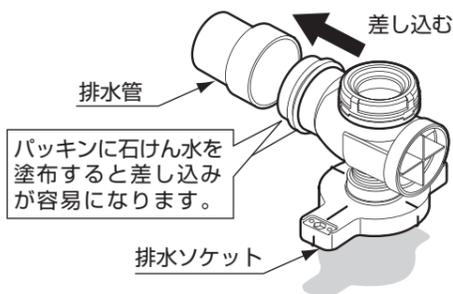


排水ソケットの仮置きの仕方

- ①排水管高さが、120mm (調節代: 120~155mm) であることを確認する。



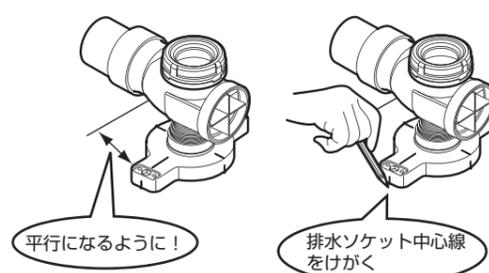
- ②台座を縮めた状態で、排水管に排水ソケットを差し込む。



- ③台座部を床に当たるまで回転させる。



- ④つばが壁に平行になるように調整し、排水ソケット中心線をけがく。

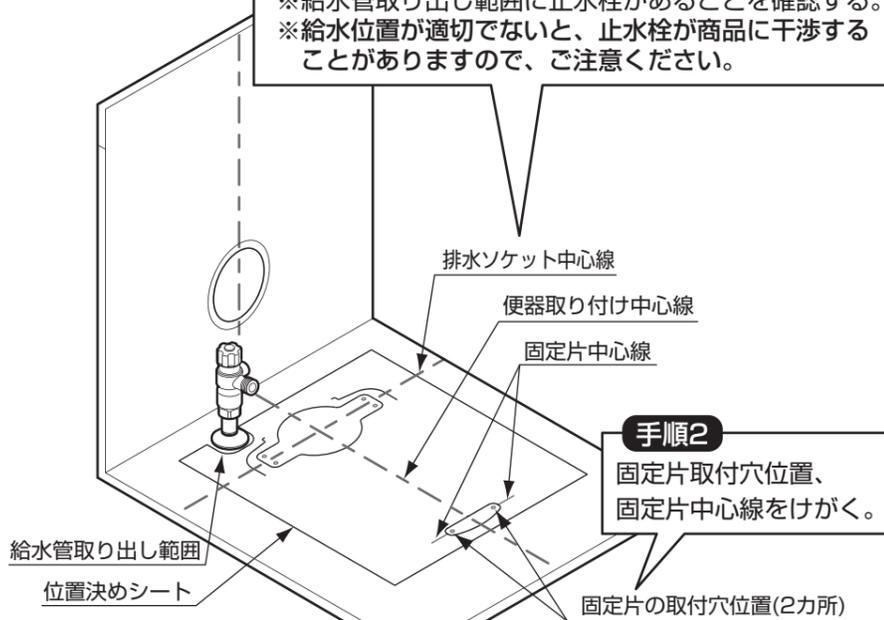


5 固定片の取り付け

(位置決めシート設置状態【床給水の場合】)

手順1

位置決めシートを便器取り付け中心線と排水ソケット中心線にあわせるようにおく。
※給水管取り出し範囲に止水栓があることを確認する。
※給水位置が適切でないと、止水栓が商品に干渉することがありますので、ご注意ください。

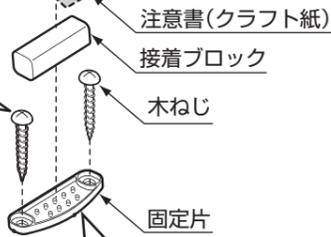


手順2

固定片取付穴位置、固定片中心線をけがく。

手順3

位置決めシートを外し、固定片を所定の位置に木ねじで固定する。
※床に木ねじをねじ込む前に、φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。



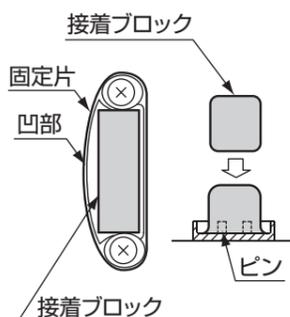
手順4

接着ブロックは、クラフト紙に包んだ状態のまま固定片の凹部のピンに差し込み、そのあと指で軽く押す。

<接着ブロックについて>

- ※施工直後のやり直しの際は、接着ブロックの形を右図のように整えてください。
- ※接着ブロックの方向性は特にありません。
- ※気温が下がると接着ブロックが固くなる場合があります。このときは、20~30℃のぬるま湯の中に、包装袋ごと入れて柔らかくして使用してください。

※詳細は、接着ブロックに付属の注意書を参照ください。



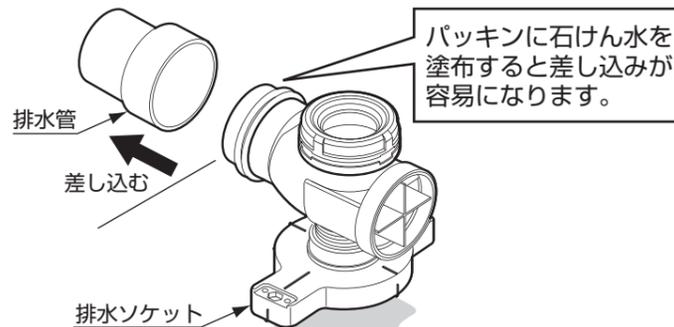
6 マルチ排水ソケットの取り付け

⚠注意



排水ソケットの六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にはめ込む
必ず実行 確実にはめ込まれていないと、便器がガタつくおそれがあります。

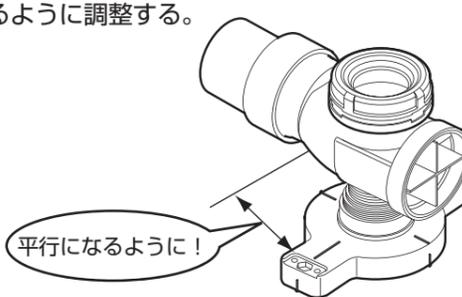
- ①台座を縮めた状態で、排水管に排水ソケットを差し込む。



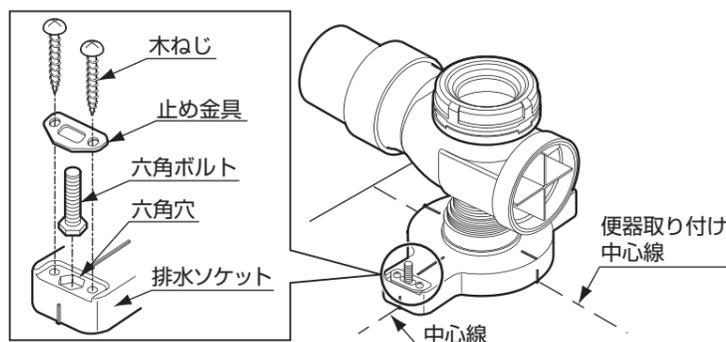
- ②台座部を床に当たるまで回転させる。



- ③つばが壁に平行になるように調整する。



- ④排水ソケット固定部（4カ所）に六角ボルトを立て、止め金具を通したうえで、木ねじで床に固定する。



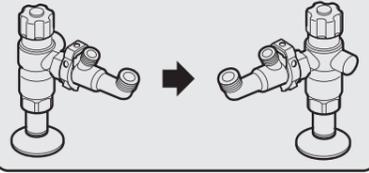
7 便器の取り付け

手順1

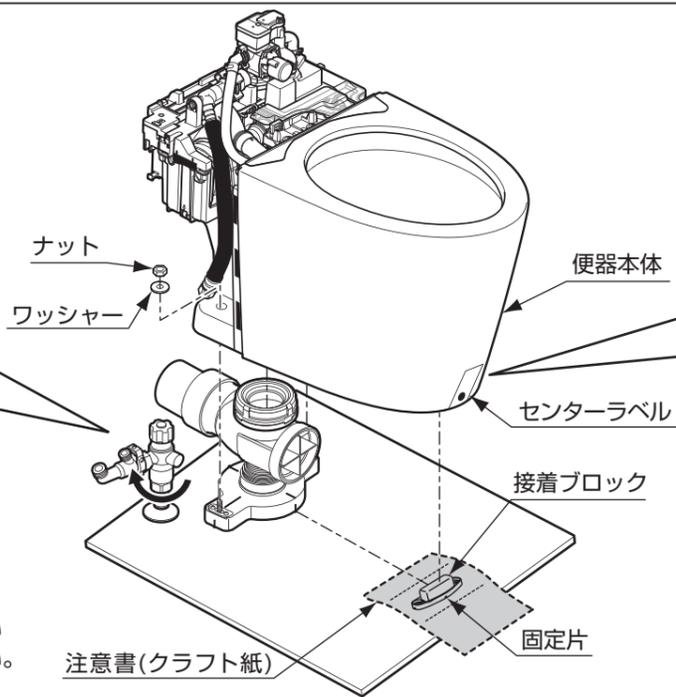
分岐金具を外向きに回転させておく。
(便器に干渉しないように)

注意

便器を取り付ける際は、分岐金具を外向きに回転させておいてください。外側に回転させないと、便器本体取り付け時に、便器本体または分岐金具が破損するおそれがあります。



※壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。



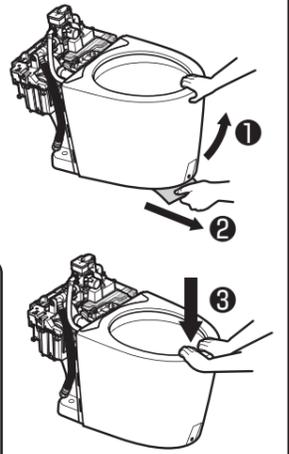
注意書(クラフト紙)

手順3

- ① センターラベルを基準に便器の位置を微調整する。
- ② 便器先端を少し持ち上げ、固定片の上のクラフト紙を引き抜く。
- ③ 接着ブロックがつぶれるまで、便器をしっかりと押さえ、センターラベルをはがす。

注意

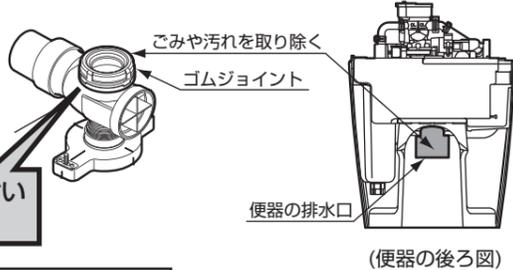
- センターラベルを基準に便器の位置を微調整してください。位置合わせ後、センターラベルをはがしてください。
- 便器が床につくまでしっかり便器を押さえてください。



手順2

- ① 便器排水口および排水ソケットの接続部周辺のごみや汚れを取り除く。
- ② 便器排水口を排水ソケットに差し込む。
※便器の持ちかたは下図を参考にしてください。

ゴムジョイントがきちんと取り付けられていることを確認してください。



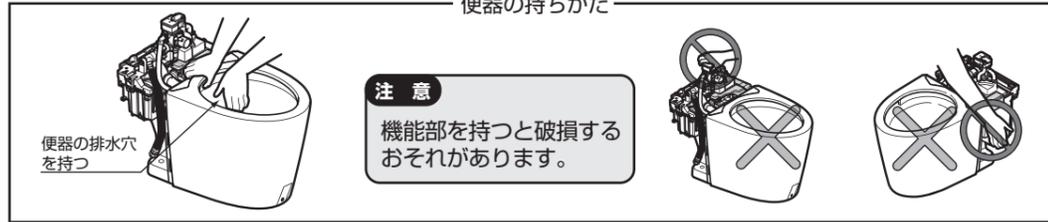
(便器の後ろ図)

ワンポイント

排水ソケットに便器本体を取り付ける場合は、目安として壁から10~15mmを目指して真上から取り付けるとスムーズに入ります。
※壁に傷がつかないように注意してください。



便器の持ちかた



注意
機能部を持つと破損するおそれがあります。

手順4

便器側の取付穴(2カ所)をワッシャー、ナットで固定する。

注意

ナットを確実に締めてください。
ナットを締め過ぎて便器を割らないように注意してください。



注意
最後の締め増しは、手締めにより行い便器を割らないように注意してください。
※ワッシャーの向きを間違えないこと。

注意
最後の締め増しは、手締めにより行い便器を割らないように注意してください。

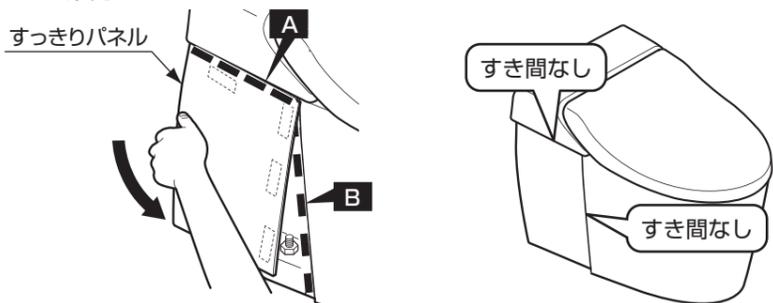
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

ウォシュレット本体の取り付け

ウォシュレット本体の取り付けはウォシュレット本体同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

すっきりパネルの取り付け

すっきりパネルを図Aと図B(点線)にあわせてすき間がないように取り付ける。
※面ファスナー部(4カ所)をしっかりと押さえてすっきりパネルが外れないことを確認してください。

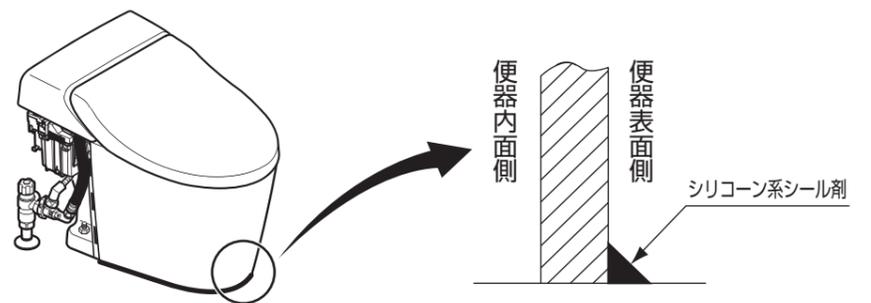


※すっきりパネルが取り付けられない場合は、給水ホースの接続方法を確認してください。
接続方法は、ウォシュレット本体同梱の施工説明書を参照してください。
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング(木質系)を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。

フローリング(木質系)を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性の透明シリコン系シーラントを塗布することをおすすめいたします。



防振シート HR800S(別売品)
防振シート用固定ねじ HH04084(別売品)

集合住宅(RC構造)では、トイレの小便時の音が階下へひびくことがあります。TOTOの防振シートは、床上排水タイプの腰掛便器と床の間に取り付けることで、床を通じて階下へ伝わる小便行為音(伝搬音)を効果的に低減しますのでご利用されることをおすすめいたします。

防振シートをご利用される際は、防振シート用固定ねじ(別売品)も必要となります。

防振シートの厚み分(5mm)、排水・壁給水接続位置が上がりますのでご注意ください。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

取り付け後の確認

- 試運転(洗浄)後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。
もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- 陶器表面に傷がないことを確認してください。
陶器表面に金属類(時計のバンド、ベルトのバックルなど)が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡がつくことがあります。
スジ状の跡がついた場合は、研磨剤入りの洗剤などで軽くこすって除去してください。
- 施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ(コーキング剤、配管用接着剤など)の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)を使って、必ず汚れをふき取ってください。便器ボウル面の洗い残りの原因となります。